

2013年(平成25年)11月9日 土曜日

木質バイオ発電所が完成

日田 1万世帯分を売電へ

間伐材など山に放置され

る未利用材を燃料とする木

質バイオマス発電所「グリ

ーン発電大分・天瀬発電

所」が日田市天瀬町五馬市

に完成し、8日に見学会が

開かれた。国や県、市の代

表、工事関係者らが出席

し、西日本で初となる森林

再生のための発電所の完成

を祝った。

見学会では、未利用材を

燃料用のチップに砕く工

程の実演を始め、チップ

の乾燥からボイラーの蒸

気発生、タービン発電ま

でのシステムが説明され

た。

発電能力は5700キ

ワットで、自家消費分を除

く5千キワットの電力(約

1万世帯分)を「エネッ

ト」に売電し、年間約10

億円の売り上げを見込ん



でいる。燃料の未利用材は年間6万〜7万トを見込み、県内のほか福岡、熊本を含めて半径50キロ圏内の山林から集める。山林所有者からの買い取り価格は、材料の種類によって1トあたり3千〜7千円を予定している。

(松本健造)